



日時 **5/31** [日] 16:10 ~ (40分程度)
参加費無料

会場 栃木県総合文化センター
ホール棟 第1会場

次世代へと生命をつなぐために —若い方々へのメッセージ—

演者：柳田 薫 (日本卵子学会理事長)

授けられた私たちの生命は今の時代を生き、そこで終わるのではなく、子孫(次世代)に引き継がれるのです。「次世代へ生命をつなぐ」ということは子孫を残すことを意味します。私たち人間のみならず、生物が背負う大切な、無意識下に実行される使命です。

日本卵子学会は卵子に関連するテーマの基礎研究を行い、そして、受精や胚発生のメカニズムを解明することで、生殖医療では特に体外受精などの不妊治療成績の向上を目指している学術団体です。

日本卵子学会から若い方々へ伝えるメッセージは、生命誕生のキーとなる卵子のドラマのことをよく知っていただき、生命を次世代へ上手につないでいただきたいということです。

女性は700万個の卵子を持っていますが、その99%以上の卵子は途中で発育を止めてしまいます。そして、700万個の卵子の内1.39個(2011年)が機会を得て子孫として次世代へと受け継がれます。

この公開講座では、そのような卵子のドラマを中心にお話しをしたいと思います。

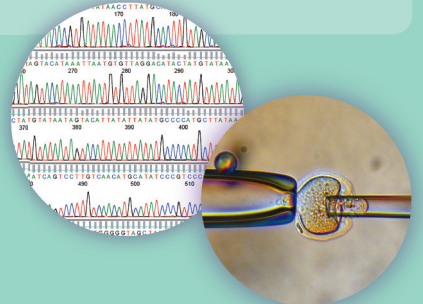
1980年3月に福島県立医科大学を卒業し、4月に同大学の産科婦人科学教室に入局。その後、産婦人科教室助手を経て1989年よりハワイ大学に留学し、世界的に有名な柳町教授のもとで研鑽を積む。

1991年に帰国した後は福島県立医科大学産婦人科教室助教授を勤められ2004年4月に現職である国際医療福祉大学大学院教授・国際医療福祉大学病院リプロダクションセンター長に就任する。また日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医、日本生殖医学会認定生殖医療指導医、日本卵子学会理事長、日本受精着床学会常務理事、第10回日本IVF学会会長、世界初の卵活性化併用ICSIの成功を達成など輝かしい経歴をもつ。

さらに後進への指導・不妊患者さんへの啓蒙活動等、幅広く活躍をしている。

座長：本山 光博 (医療法人三秀会中央クリニック 理事長)

昭和55年3月25日 広島大学医学部医学科卒業
昭和55年6月1日より広島大学附属病院医員
昭和57年4月1日より自治医科大学産婦人科医員として入局
平成5年6月30日 自治医科大学産婦人科退職
平成5年8月16日 中央クリニックを開院、現在に至る



第56回日本卵子学会学術集会 学術集会長 吉澤 緑

宇都宮大学 農学部生物資源科学科 動物育種繁殖学教室
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

[Tel] 028-649-5433,5434 [Fax] 028-649-5431

運営担当 株式会社プロコムインターナショナル
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階
[Tel] 03-5520-8821 [Fax] 03-5520-8820 [Mail] jsor56@procomu.jp

<http://www.procomu.jp/jsor2015>

